

令和7年度 中津市観光アンケート調査報告書

令和8年5月 観光課

目次

1 本調査について	P1
2 調査結果の総括	P3
3 調査結果のポイント	P4
4 調査結果の詳細	
(1) 回答者の属性	
1) 居住地	P6～P7
2) 性別	P8
3) 年代	P8～P9
(2) 中津市での旅行(観光)について	
① 訪問回数	P10
② 旅の目的	P11
③ 具体目的	P12
④ 来訪人数	P13
⑤ 参加形態	P13
⑥ 計画期間	P14
⑦ 情報源	P15
⑧ 滞在期間	P16
⑨ 宿泊日数	P16
⑩ 旅の予算	P17
⑪ 交通手段	P17
⑫ 観光箇所	P18
⑬ 前後周遊	P19
⑭ 再訪意欲	P19～P20
⑮ 旅の印象	P21
⑯ 要望や意見	P22

1 本調査について

1) 調査概要

① 調査の目的

観光客の属性や観光の実態等を把握し分析することで、より効果的な観光事業の実施を目指す。
また、調査結果を地域へフィードバックし、地域一体となった観光まちづくりを目的とする。

② 調査期間

令和7年6月1日～令和8年3月22日

③ 調査方法

二次元バーコードによる読み込み式アンケート

④ 調査地点

一般社団法人中津耶馬溪観光協会の会員施設において

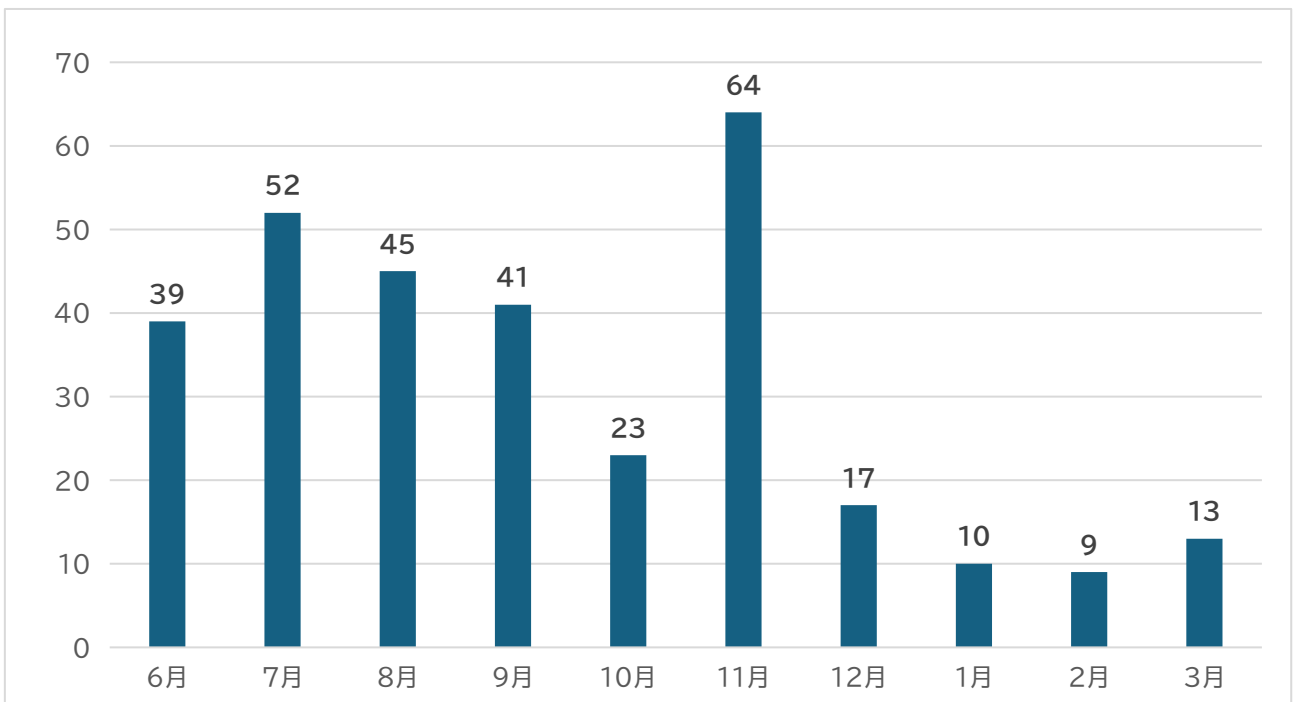
⑤ 対象者

中津市への来訪者

⑥ アンケートの回収結果

313人

2) 回答者数の月別推移



3)質問内容

(1)回答者の属性

- 居住地 都道府県/市区町村:あなたの居住地を教えてください
- 性別:性別を教えてください
- 年代:あなたの年代を教えてください

(2)中津市での旅行(観光)について

- ① 訪問回数:中津(耶馬溪を含む)旅行は何回目ですか?(4択中・1つ選択)
- ② 旅の目的:今回の旅行の目的を教えてください(7択中・複数選択)
- ③ 具体目的:具体的な目的があった場合教えてください(任意)
- ④ 来訪人数:今回の旅の来訪人数を教えてください(4択中・1つ選択)
- ⑤ 参加形態:今回の旅で次に当てはまるものを選んでください(7択中・1つ選択)
- ⑥ 計画期間:今回の旅の予定はいつごろ計画しましたか?(5 択中・1つ選択)
- ⑦ 情報源:今回の旅の情報を事前に調べたコンテンツを選択してください(複数選択可)
- ⑧ 滞在期間:今回の旅の滞在期間を教えてください(4択中・1つ選択)
- ⑨ 宿泊日数:宿泊日数を教えてください(4択中・1つ選択)
- ⑩ 旅の予算:今回の旅行の予算(1人あたり)を教えてください(7択中・1つ選択)
- ⑪ 交通手段:中津旅行中の主な交通手段を教えてください(7択中・複数選択)
- ⑫ 観光箇所:今回訪れた(訪れる)場所を教えてください(19択中・複数選択)
- ⑬ 前後周遊:今回中津以外に訪れた(訪れる)場所を教えてください(8択中・複数選択)
- ⑭ 再訪意欲:再び中津に訪れたいと思いますか?(5択中・1つ選択)
- ⑮ 旅の印象:今回の旅で心に残ったグルメやスポットなど教えてください(任意)
- ⑯ 要望・意見:その他中津市の観光で困ったこと要望があればご記入ください(任意)

※注意:次項以降の割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

2 調査結果の総括

1) 調査結果総括

本調査の結果からは、「40代～60代の女性層」を中心とした、自家用車による「食」と「自然」を目的とした「日帰り観光」が主な来訪形態である傾向が見て取れる。

また、極めて高い再訪意欲と強固なリピーター基盤という強みを有する一方で、短時間滞在に伴い観光消費額が低水準に留まっていることや、二次交通・渋滞等の交通アクセス面における課題が顕著となっている。

2) 調査結果から見えた課題と今後について

① 調査手法の検証と精査

- 本年度の調査において、日帰り層の回答割合が相対的に高まったことで観光消費単価が低調な結果となった。
- 要因としては、前年度の「歴史文化施設」から「観光協会会員施設」へ調査地点を変更した影響が推察される。
- 今後は、経年比較の妥当性を確保するために調査地点の精査・固定化を図る必要がある。
- 実態に近い消費動向をより正確に把握するためのサンプリング手法の改善が不可欠である。

② 交通アクセスの利便性向上に向けた課題解決

- 自由記述において、「交通・アクセス」に関する課題指摘(バスの運行本数不足、渋滞、駐車場不足など)が最多の23件(45.8%)となっている。
- 自家用車利用が74.7%という現状を踏まえつつ、公共交通機関の利便性向上や二次交通の整備、渋滞対策が求められる。
- 来訪者が円滑に周遊できる環境づくりが必要である。

③ ターゲット層のニーズに即した受入環境の整備

- 主要ターゲットの「40～60代女性」の満足度をさらに高める施策が必要である。
- キャッシュレス決済の普及といった利便性向上を図る。
- 滞在時間の延長を促す夜間の観光コンテンツ創出など、消費機会を拡大させるための具体的な受入体制の構築が必要である。

調査結果のポイント

➤ 居住地域

居住地は「九州・沖縄地方」が全体の 75.1%を占め、近接客が中心である。都道府県別では「福岡県」(36.4%)、「大分県」(24.6%)が多数を占めた。市町村別では「大分市」(10.9%)、「福岡市」(8.9%)の順に多い。

➤ 性別

性別は「女性」が 62.3%、「男性」が 36.4%、「回答しない」が 1.3%であり、女性客が過半数を占める。特に女性は昨年度比で 13.2%の大幅な増加となった。

➤ 年代

年代別では「50代」(27.5%)、「40代」(18.8%)、「60代」(18.2%)と中高年層が主力である。「40～60代女性」が全体の 41.2%を占め、最大のコアターゲットである。若年層の「20代」は昨年度比で 3.6%増加した。

① 訪問回数

「4回以上」が 56.5%と過半数を占め、昨年度比 6.2%増とリピーター基盤が強固である。一方、「初めて」も 25.2%(同 6.4%増)と新規獲得も進んでおり、特に20代は「初めて」が 41%と最多である。

② 旅の目的

「観光(グルメ)」が 36.2%、「観光(自然・景観)」が 34.9%と二大目的である。特に「自然・景観」は昨年比 13.3%増と大きく伸びており、特に50代がこの両目的を強く牽引している。

③ 具体目的

「耶馬溪(8.4%)」「紅葉(8.0%)」の自然景観が上位を占め、次いで「からあげ(6.5%)」が続く。景観と食のコンテンツが、中津市へ足を運ばせるための強力な集客フックとして機能している。

④ 来訪人数

「2人」での来訪が 49.8%と約半数を占めて最多である。次いで「4人以上(20.1%)」、「3人(16.3%)」と続き、少人数グループでの落ち着いた旅行スタイルが中津観光の主流となっている。

⑤ 参加形態

「家族旅行(夫婦)」が 40.3%で最多となり、昨年度比 8.2%の大幅増を記録した。次いで「家族旅行(夫婦+子供)」が 19.5%と続き、ミドル～シニア層を中心とした夫婦・家族滞在が中心である。

⑥ 計画期間

全体の約4割(39.9%)が「1週間以内」に計画する直前型である。九州等の近接地域は直前計画が主であるが、関東や近畿など遠方になるほど1か月以上前から計画する傾向となっている。

⑦ 情報源

「Web サイト」が 32.0%でトップ、次いで「SNS」が 16.5%(昨年比 9.9%増)と伸長している。若年層は SNS 活用が多い一方、70代以上はパンフレットなど紙媒体を重視する世代間差異がある。

⑧ 滞在期間

「日帰り(1日)」が 33.9%、「日帰り(半日)」が 24.6%で、半数以上が日帰り客である。昨年度比で日帰りが 11.2%増加しており、中津市での滞在時間の短さが課題となっている。

⑨ 宿泊日数

中津市内の宿泊者のうち「1泊」が 67.1%を占める。昨年度より1泊層は減少したが、一方で「2泊」が 19.0%(昨年比 13.2%増)、「3泊以上」も増加しており、連泊需要が一部で高まっている。

⑩ 旅の予算

1人当たりの平均予算は¥16,661 で、宿泊予算の減少等により昨年度から¥19,577 の減となった。大分県平均と比較しても宿泊単価は低く、消費額の拡大の施策が必要。

⑪ 交通手段

「自家用車」が 74.7%と多数を占め、昨年度からさらに 21.3%増加している。次いで「レンタカー」が 9.3%となっており、中津市はマイカー依存型の観光地となっている。

⑫ 観光箇所

「青の洞門・競秀峰」が 13.6%でトップ、「耶馬溪橋」は昨年度比約 3 倍に急伸した。また「からあげ店」も 12.4%と好調な一方、「福澤諭吉旧居」等の歴史系施設は減少した。

⑬ 前後周遊

「中津のみ(28.2%)」の単独訪問も多い一方、「宇佐(20.2%)」「別府(18.1%)」「由布院(11.5%)」と、大分県内の著名な主要観光地と一緒に周遊されている。

⑭ 再訪意欲

「そう思う(82.1%)」「まあ思う(15.0%)」の肯定派が 97.1%に達し、非常に高い満足度を獲得している。特に女性は肯定派が 98.0%に達し、男性よりもさらに高い再訪意欲を示している。

⑮ 旅の印象

心に残ったものとして「食(からあげ)」が 18.7%、「観光(自然・景観)」が 17.0%、「食(食事施設)」が 16.8%を集めた。中津からあげと耶馬溪などの自然景観が2大印象となった。

⑯ 要望・意見

否定的な意見(48件)のうち約半数(45.8%)が、バス不足や渋滞、駐車場不足など「交通・アクセス」への不満である。キャッシュレス決済の不足など、利便性向上が求められている。

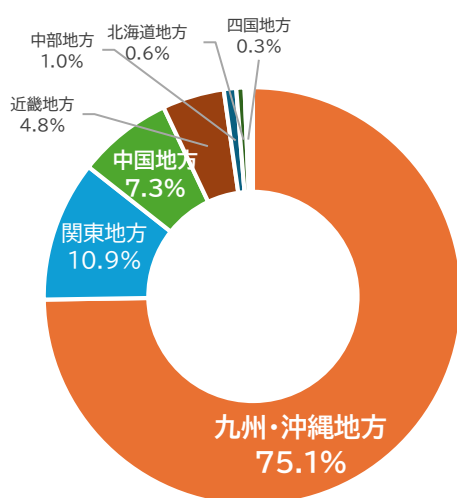
4 調査結果の詳細

(1) 回答者の属性

▶ 居住地域 地方分類 / 九州・沖縄地方抜粋

- ・地方分類では「九州・沖縄」が75.1%と最も多く、次いで「関東」10.9%、「中国」7.3%と続く。昨年度に比べ、「九州・沖縄」の割合が増加、一方「関東」、「近畿」の割合は減少した。
- ・「九州・沖縄」の都道府県別で見ると、「福岡県」が36.4%と最も多く、次いで「大分県」24.6%と続く。
- ・市区町村別では、「大分市」10.9%、「福岡市」8.9%、「北九州市」8.6%の順となった。

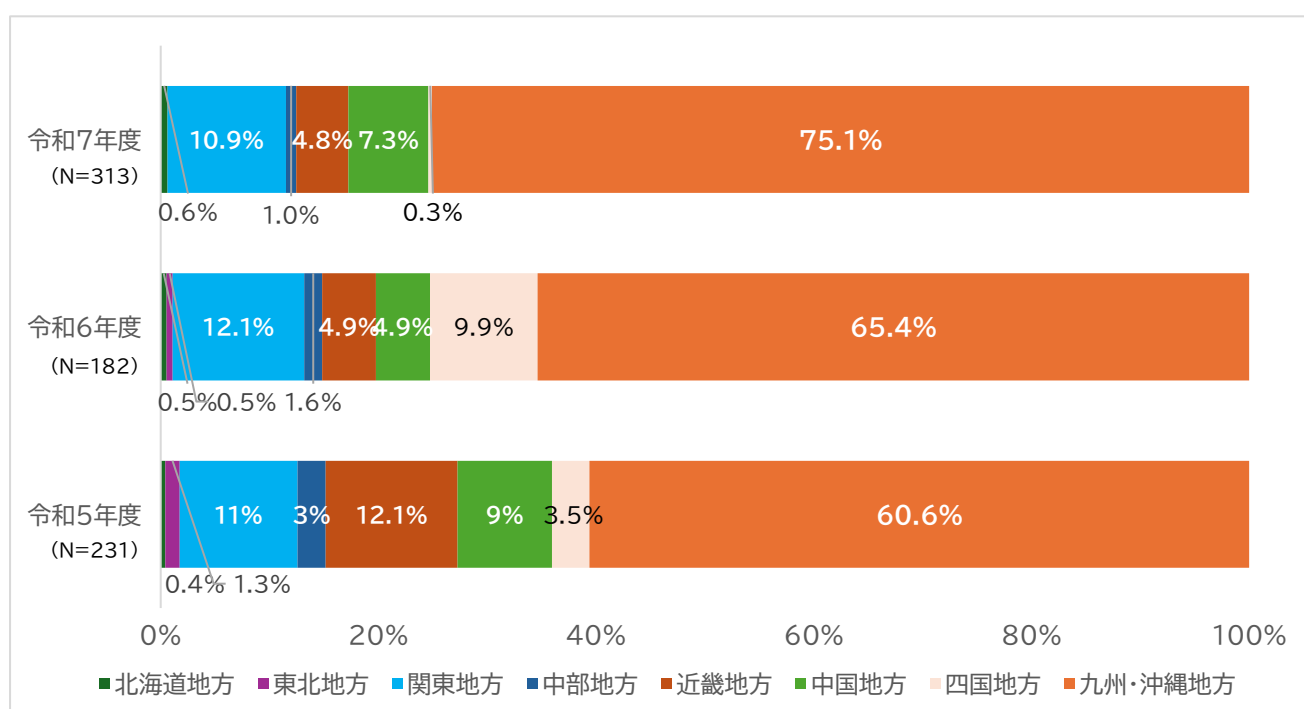
■全体 (N=313)



■九州・沖縄地方抜粋 昨年度割合比較

県名	回答数	割合	昨年度割合	増減
福岡県	114	36.4%	38.8%	-2.4%
大分県	77	24.6%	21.8%	2.8%
熊本県	14	4.5%	3.0%	1.4%
長崎県	10	3.2%	4.2%	-1.0%
佐賀県	8	2.6%	2.4%	0.1%
宮崎県	7	2.2%	0.6%	1.6%
鹿児島県	4	1.3%	1.2%	0.1%
沖縄県	1	0.3%	0%	0.3%
計	235	75.1%	72.1%	3.0%

■地方分類 年次推移



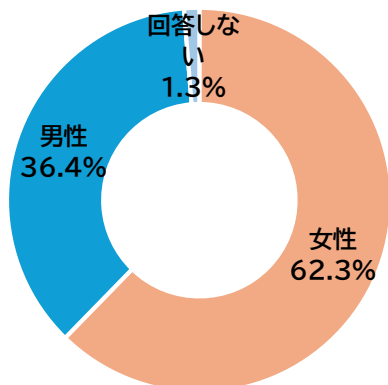
参考)市区町村別 ランキング (N=313)

順位	市区町村	回答数	割合
1	大分市	34	10.9%
2	福岡市	28	8.9%
3	北九州市	27	8.6%
4	熊本市	11	3.5%
5	宇佐市	10	3.2%
6	行橋市	8	2.6%
6	別府市	8	2.6%
8	豊前市	7	2.2%
8	日田市	7	2.2%
10	横浜市	6	1.9%
11	長崎市	5	1.6%
11	豊後高田市	5	1.6%
11	太宰府市	5	1.6%
14	吉富町	4	1.3%
14	下関市	4	1.3%
14	久留米市	4	1.3%
14	大阪市	4	1.3%
18	鳥栖市	3	1.0%
18	由布市	3	1.0%
18	飯塚市	3	1.0%
18	霧島市	3	1.0%
18	防府市	3	1.0%
18	宮崎市	3	1.0%
18	小郡市	3	1.0%
18	名古屋市	3	1.0%
26	中津市	2	0.6%
26	文京区	2	0.6%
26	杉並区	2	0.6%
26	古賀市	2	0.6%
26	小城市	2	0.6%

➤ 性別

- ・回答者の性別は、「女性」が 62.3%、「男性」が 36.4%、回答しない「1.3%」となった。
- 「女性」回答者が、昨年度比 13.2%の増加となった。

■全体 (N=313)



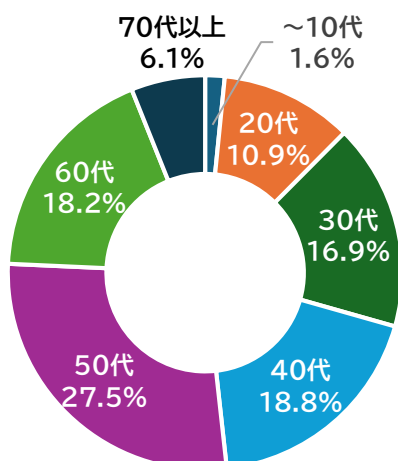
■性別 昨年度割合比較

性別	回答数	割合	昨年度割合	増減
女性	195	62.3%	49.1%	13.2%
男性	114	36.4%	50.9%	-14.5%
回答しない	4	1.3%	0%	1.3%
計	313	100%		

➤ 年代

- ・年代別では、「50代」が 27.5%最も多く、次いで「40代」18.8%、「60代」18.2%と続く。
- 一方、「30代」は昨年度比で 5.5%と最も大きな減少幅となった。一方で、「20代」は 3.6%増加した。

■全体 (N=313)



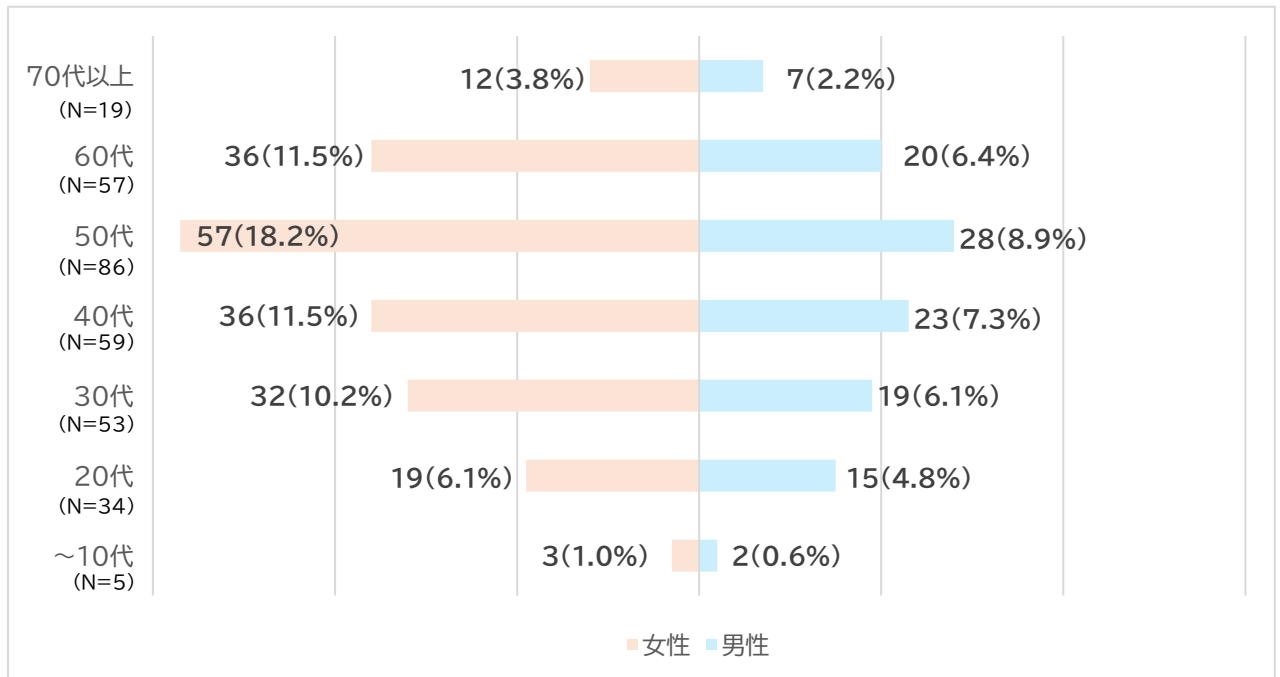
■九州・沖縄地方抜粋 昨年度割合比較

年代	回答数	割合	昨年度割合	増減
~10代	5	1.6%	1.8%	-0.2%
20代	34	10.9%	7.3%	3.6%
30代	53	16.9%	22.4%	-5.5%
40代	59	18.8%	21.8%	-3.0%
50代	86	27.5%	28.5%	-1.0%
60代	57	18.2%	18.2%	0.0%
70代以上	19	6.1%	※	※
計	313	100%		

※今年度新設の質問項目の為対照なし。

参考) 性別 × 年代 (N=313)

- ・今回の調査では、全世代で女性客が多く、特に「50代女性(18.2%)」が最も多くなっている。
- ・また、40～60代女性で全体の4割超(41.2%)を占める。男性客も50代が最も多いが、女性ほどの集中は見られない。



※(%)は N=313 に対する割合

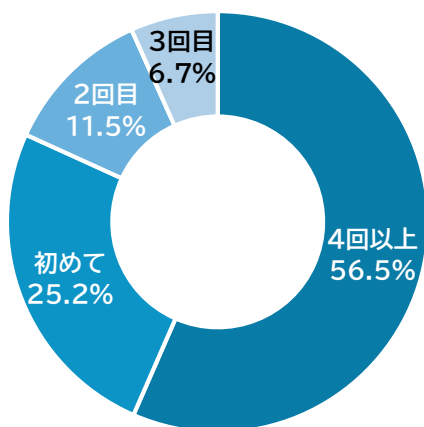
(2) 中津市での旅行(観光)について

① 訪問回数

《質問:中津(耶馬溪を含む)旅行は何回目ですか？(4択中・1つ選択)》

・訪問回数では「4回以上」が56.5%と最も多く半数を超え、昨年度比でも6.2%増加している。一方、「初めて」の割合も25.2%となっており、昨年度比で6.4%増加した。

■全体 (N=313)

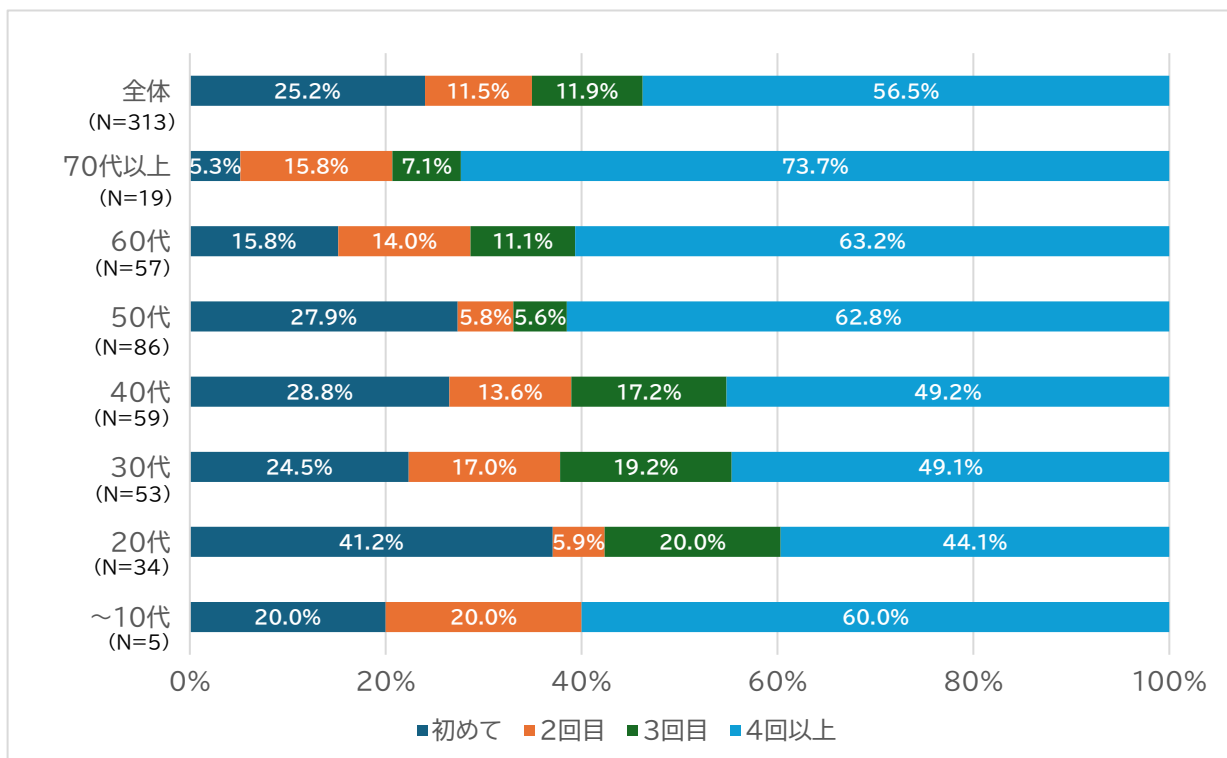


■訪問回数 昨年度割合比較

項目	回答数	割合	昨年度割合	増減
初めて	79	25.2%	18.8%	6.4%
2回目	36	11.5%	20.0%	-8.5%
3回目	21	6.7%	10.9%	-4.2%
4回以上	177	56.5%	50.3%	6.2%
計	313	100%		

参考) 性別 × 年代

60代以上は60%~70%が頻繁に来訪している。一方、20代は全世代に比べ「初めて」が40%と最も多く、新規の観光・旅行客が来訪している。

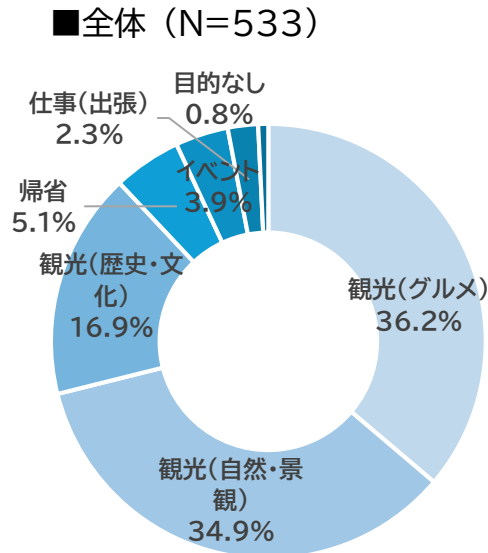


② 旅の目的

《質問: 今回の旅行の目的を教えてください(7択中・複数選択)》

・「観光(グルメ)」が 36.2%、「観光(自然・景観)」が 34.9%と二大目的となっており、特に「自然・景観」は昨年度比で 13.3%増加している。

・目的×年代では、50代が「観光(グルメ)」、「観光(自然・景観)」で最も多く、また「歴史・文化」は40代・50代の関心が高い。

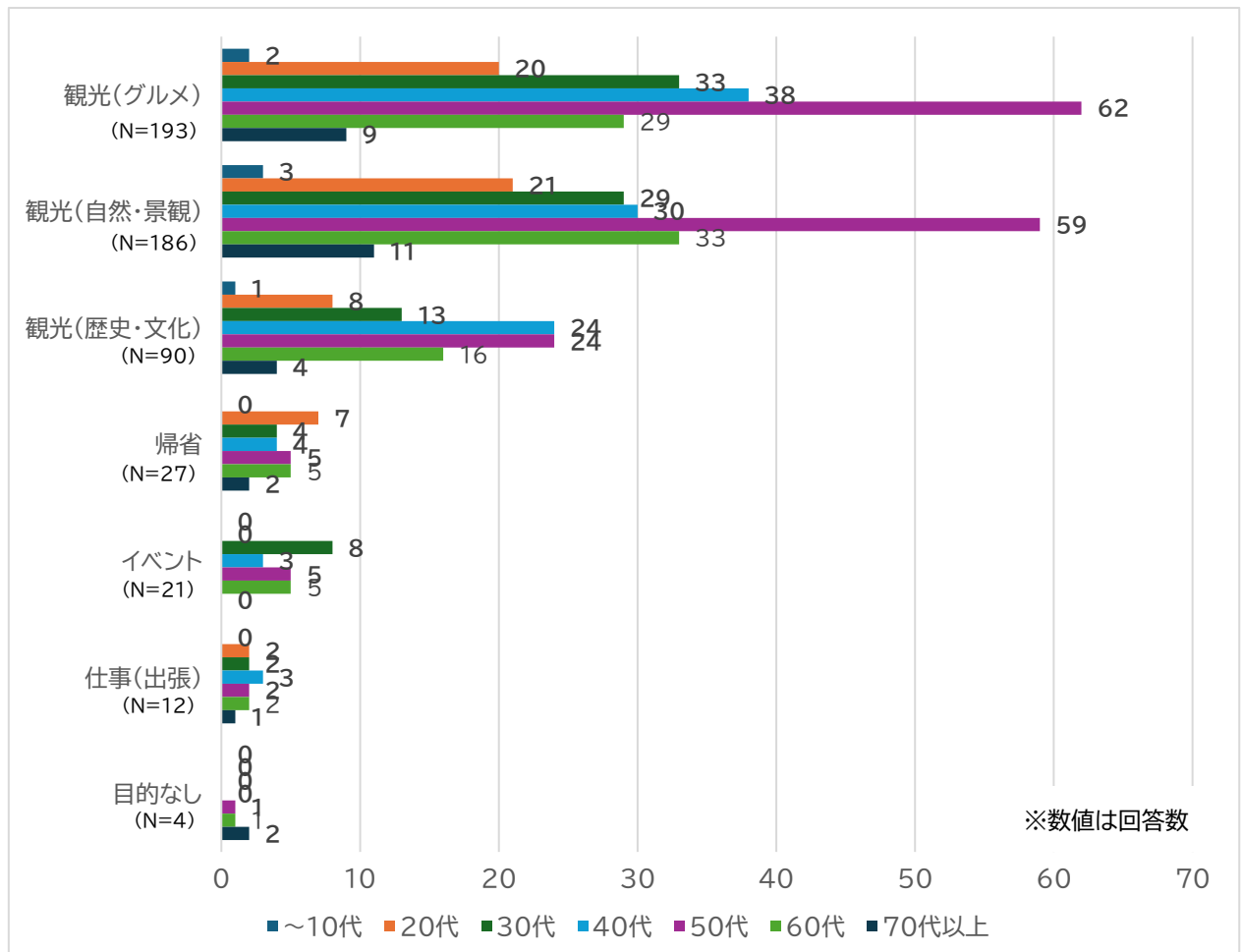


■旅の目的 昨年度割合比較

項目	回答数	割合	昨年度割合	増減
観光(グルメ)	193	36.2%	27.9%	8.3%
観光(自然・景観)	186	34.9%	21.6%	13.3%
観光(歴史・文化)	90	16.9%	26.8%	-9.9%
帰省	27	5.1%	※	※
イベント	21	3.9%	9.7%	-5.8%
仕事(出張)	12	2.3%	※	※
目的なし	4	0.8%	※	※
	533	100%		

※今年度新設の質問項目の為昨年度対照なし。

参考) 目的 × 年代 (N=533)



③ 具体目的（令和7年度新設）

≪質問:具体的な目的があった場合教えてください(任意)≫

・具体的な目的では、「耶馬溪」が8.4%、「紅葉」が8.0%、「からあげ」が6.5%と上位となっている。「観光(自然・景観)」と「観光(グルメ)」が集客のフックとなっている。

■具体的な目的 ※ワードを抜粋し集計

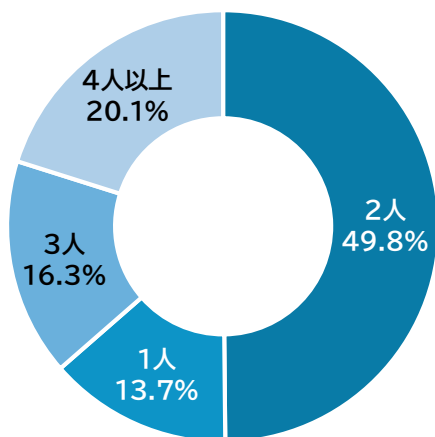
順位	具体的な目的(ワード抜粋)	回答数	割合
1	耶馬溪	27	8.4%
2	紅葉	26	8.0%
3	からあげ	21	6.5%
4	人に会いに	18	5.6%
5	洞門パティオ	17	5.3%
6	中津城	17	5.3%
7	温泉	13	4.0%
8	福澤諭吉旧居・福澤記念館	13	4.0%
9	青の洞門	9	2.8%
10	そば	9	2.8%
11	食事(からあげ・はも・そば以外)	8	2.5%
12	コスモス祭り	8	2.5%
13	汽車ポッポ	5	1.5%
14	その他	5	1.5%
15	景色	4	1.2%
16	帰省	4	1.2%
17	道の駅	4	1.2%
18	一目八景	4	1.2%
19	そば饅頭	4	1.2%
20	自然	3	0.9%
21	体験	3	0.9%
22	仕事	3	0.9%
23	サイクリング	3	0.9%
24	ひのでグリル	3	0.9%
25	はも料理	3	0.9%
26	別府	3	0.9%
27	禅海茶屋	2	0.6%
27	スタンプラリー	2	0.6%
27	癒し	2	0.6%
27	日田	2	0.6%

④ 来訪人数 (令和7年度新設)

《質問: 今回の旅の来訪人数を教えてください(4択中・1つ選択)》

・「2人」での来訪が49.8%と最も多く約半数を占め、次いで4人以上が20.1%、3人が16.3%と続く。

■全体 (N=313)



■来訪人数 昨年度割合比較

来訪人数	回答数	割合
2人	156	49.8%
1人	43	13.7%
3人	51	16.3%
4人以上	63	20.1%
計	313	100%

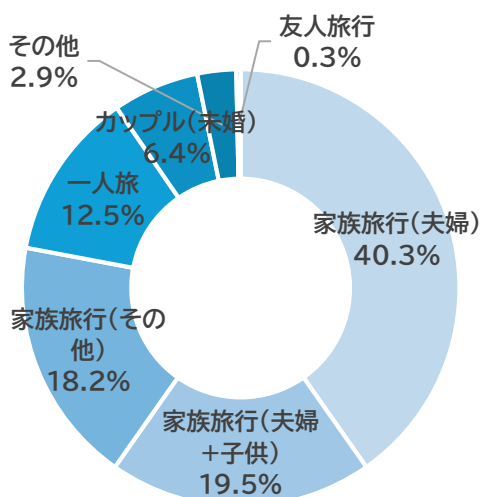
⑤ 参加形態

《質問: 今回の旅で次に当てはまるものを選んでください(7択中・1つ選択)》

・「家族旅行(夫婦)」が40.3%と最も多く、次いで「家族旅行(夫婦+子供)」が19.5%と続く。

特に、「家族旅行(夫婦)」での旅行が昨年度比8.2%増加した。

■全体 (N=313)



■参加形態 昨年比較

項目	回答数	割合	昨年度割合	増減
家族旅行(夫婦)	126	40.3%	32.1%	8.2%
家族旅行(夫婦+子供)	61	19.5%	20.0%	-0.5%
家族旅行(その他)	57	18.2%	16.4%	1.8%
一人旅	39	12.5%	17.6%	-5.1%
カップル(未婚)	20	6.4%	1.8%	4.6%
その他	9	2.9%	2.4%	0.5%
友人旅行	1	0.3%	6.1%	-5.8%
計	313	100%		

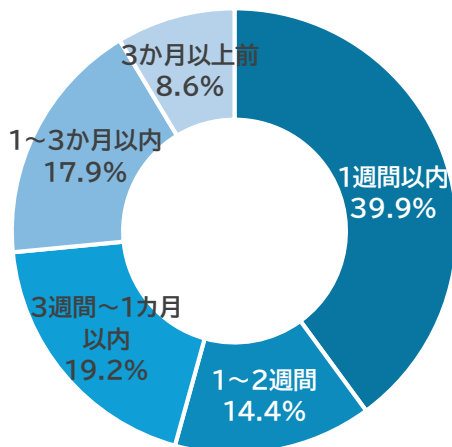
⑥ 計画期間

《質問: 今回の旅の予定はいつごろ計画しましたか(5 択中・1つ選択)》

・「1 週間以内」が 39.9%で最も多く、次いで「3週間～1 か月」19.2%となった。

九州・沖縄や中国地方などの近接地方は「1週間以内」の直前計画が主。一方で、関東(1～3 か月以内が 50%)や近畿など、遠方になるほど 1 か月以上前からの計画となっている。

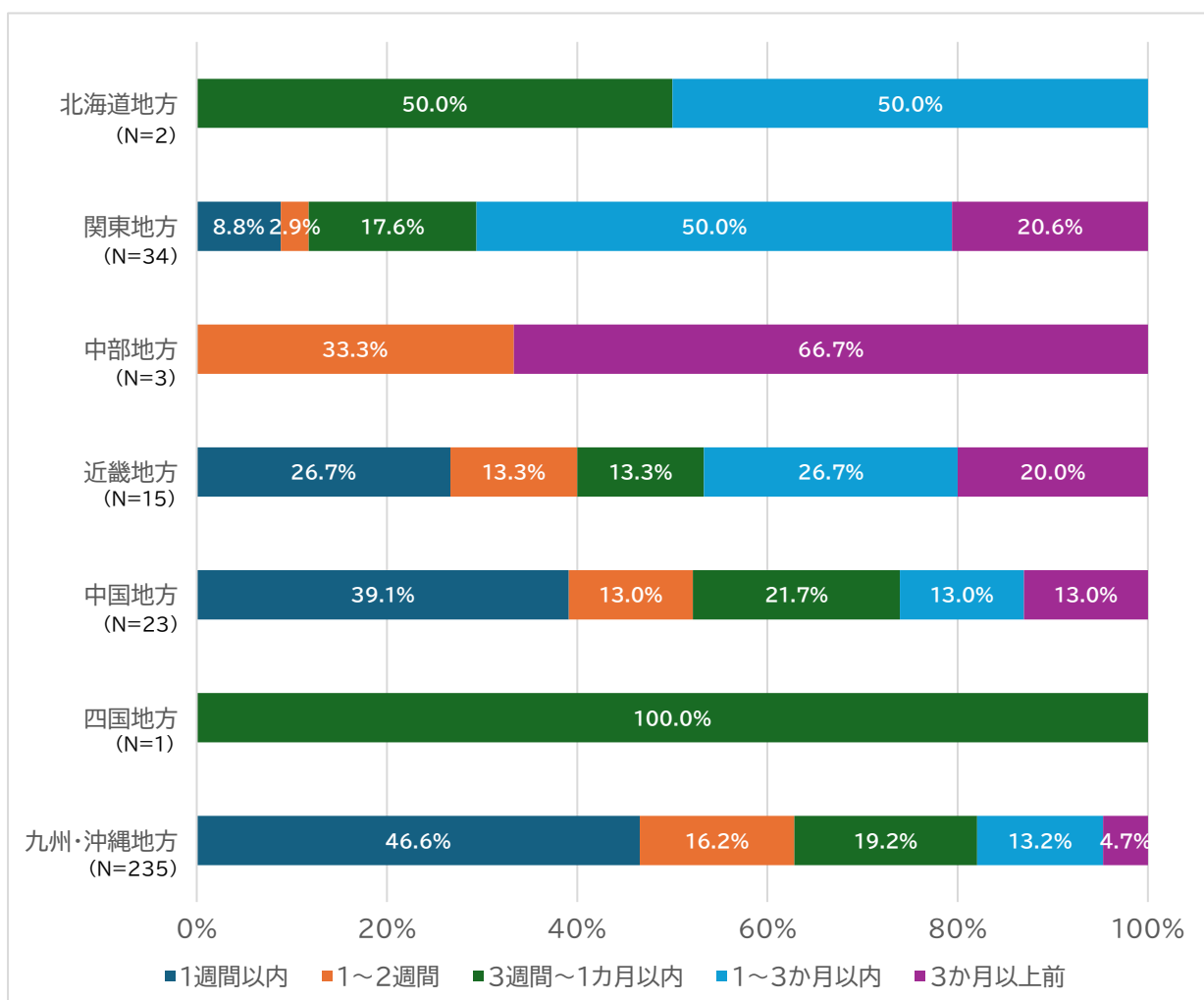
■全体 (N=313)



■旅の計画期間 昨年度割合比較

項目	回答数	割合	昨年度割合	増減
1 週間以内	125	39.9%	38.1%	1.8%
1～2 週間	45	14.4%	16.5%	-2.1%
3 週間～1 か月以内	60	19.2%	16.9%	2.3%
1～3 か月以内	56	17.9%	21.6%	-3.7%
3 か月以上前	27	8.6%	6.9%	1.7%
計	313	100%		

参考) 地方分類 × 旅の計画期間



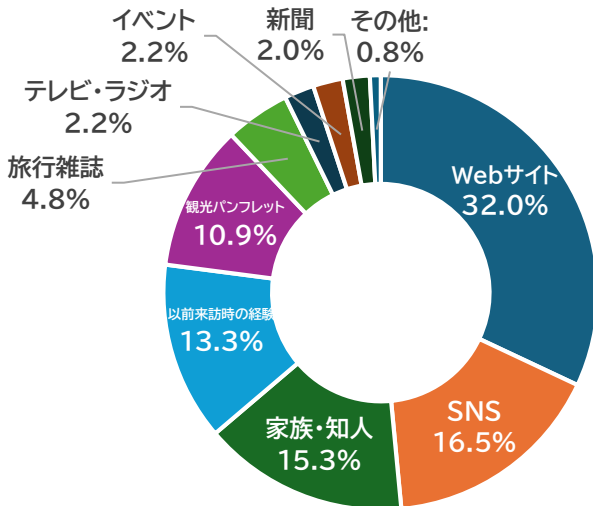
⑦ 情報元

《質問: 今回の旅の情報を事前に調べたコンテンツを選択してください(複数選択可)》

・全体ではWebサイト 32.0%と最も多く、次いでSNS16.5%となった。

20～30代でSNSは20%を超えるが60代以上で減少。70代以上は観光パンフレットが最も多く、高年齢層ほど紙媒体や過去の経験を重視する傾向がある。

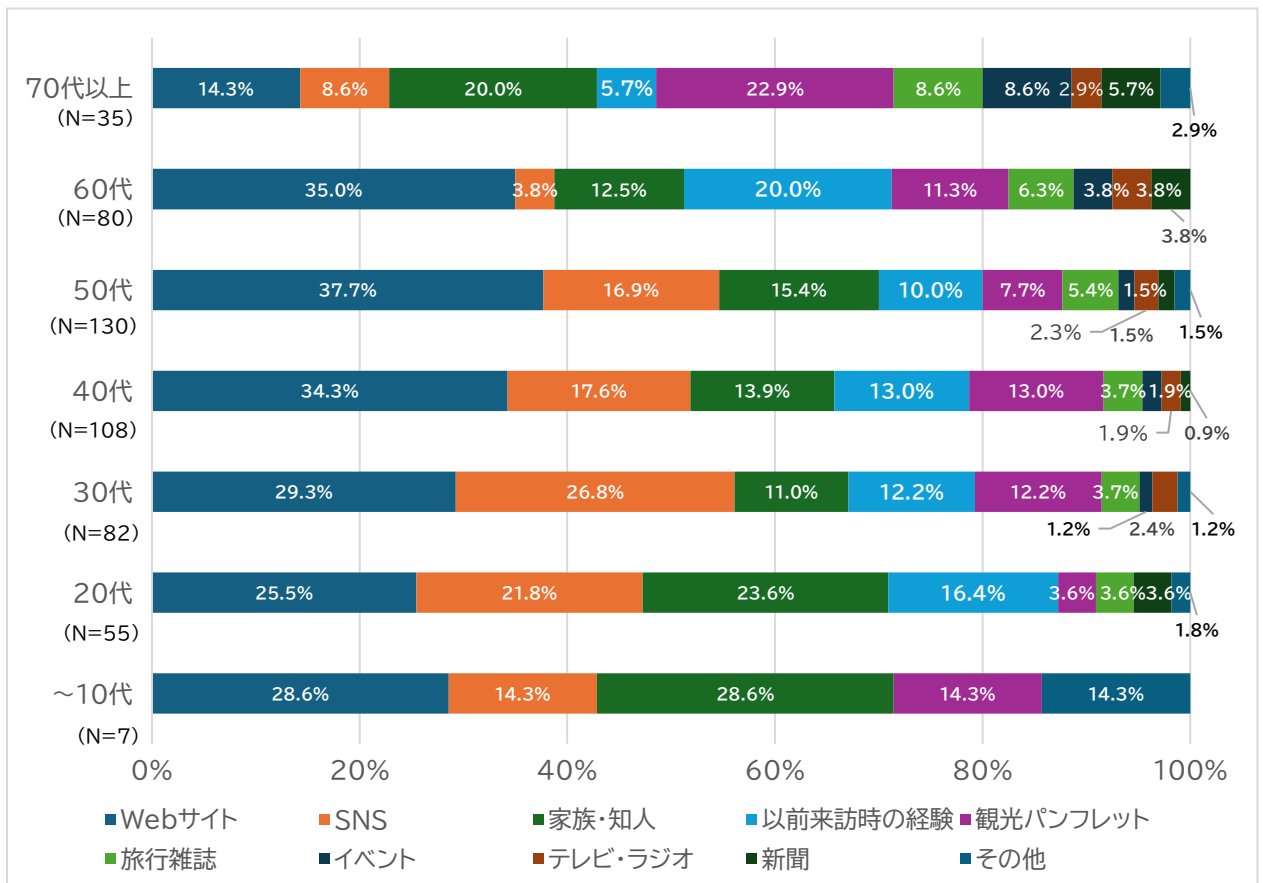
■全体 (N=497)



■旅の情報元 昨年度割合比較

項目	回答数	割合	昨年度割合	増減
Webサイト	159	32.0%	27.6%	4.4%
SNS	82	16.5%	6.6%	9.9%
家族・知人	76	15.3%	11.1%	4.2%
以前来訪時の経験	66	13.3%	15.2%	-1.9%
観光パンフレット	54	10.9%	14.8%	-3.9%
旅行雑誌	24	4.8%	7.8%	-3.0%
テレビ・ラジオ	11	2.2%	3.7%	-1.5%
イベント	11	2.2%	7.0%	-4.8%
新聞	10	2.0%	1.2%	0.8%
その他	4	0.8%	4.9%	-4.1%
計	497	100%		

参考) 旅の情報元 × 年代 (N=497)

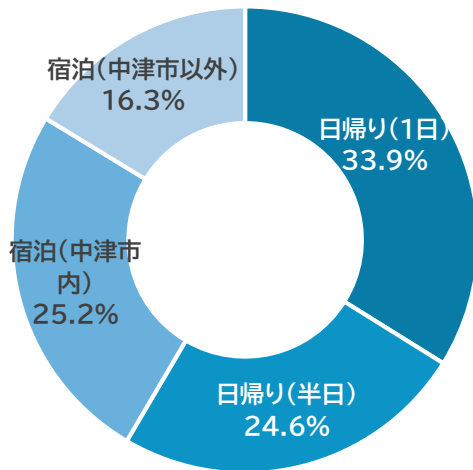


⑧ 滞在期間

《質問: 今回の旅の滞在期間を教えてください(4択中・1つ選択)》

・「日帰り(1日)」が 33.9%、「日帰り(半日)」が 24.6%となっており、回答者の半数以上が日帰りとなっている。また、昨年度比でも 11.2%と日帰りが増加し、滞在時間の短さが課題。

■全体 (N=313)



■旅行形態 昨年度割合比較

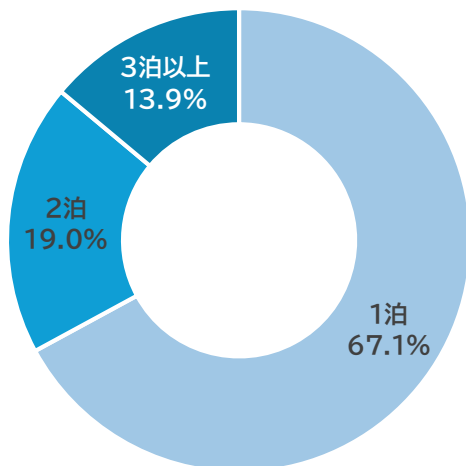
項目	回答数	割合	昨年度割合	増減
日帰り(1日)	106	33.9%	47.3%	11.2%
日帰り(半日)	77	24.6%		
宿泊(中津内)	79	25.2%	31.5%	-6.3%
宿泊(中津以外)	51	16.3%	21.2%	-4.9%
計	313	100%		

⑨ 宿泊日数 ※中津市内宿泊者抜粋

《質問: 宿泊日数を教えてください(4択中・1つ選択)》

・中津市内に宿泊した人のうち、「1泊」が 67.1%となった。また、「2泊」が 19.0%と昨年度比より 13.2%増加し、「3泊以上」が 4.3%と連泊も増加した。

■全体 (N=79)



■中津市内・泊数 昨年度割合比較

項目	回答数	割合	昨年度割合	増減
1泊	53	67.1%	75.0%	-7.9%
2泊	15	19.0%	5.8%	13.2%
3泊以上	11	13.9%	9.6%	4.3%
計	79	100%		

⑩ 旅の予算

《質問：今回の旅行の予算(1人あたり)を教えてください(7択中・1つ選択)》

- ・一人当たりの予算平均は¥16,661で、昨年度の¥36,238から¥19,577の減少となった。特に宿泊の予算額が中津市内で¥9,060、市外で¥45,360と減少した。
- ・また、令和6年の大分県観光消費額平均と比較すると日帰りでは¥2,518となったが、宿泊(中津市内宿泊の平均消費額 対 大分県宿泊の観光消費額平均)は¥14,483と減少した。

■全体 (N=313)

項目	①予算額の平均	昨年度	増減①-②	③大分県観光消費額平均(R6)	増減①-③
全体	¥16,661	¥36,238	¥-19,577	¥20,425	¥-3,764
日帰り(半日)	¥7,435	-	-	-	-
日帰り(1日)	¥8,090	-	-	-	-
日帰り (半日・1日平均消費額)	¥7,814	¥14,502	¥-6,688	¥5,296	¥2,518
宿泊 (中津市内)	¥26,487	¥35,547	¥-9,060	¥40,970	¥-14,483
宿泊 (中津市以外)	¥33,186	¥78,546	¥-45,360	¥40,970	¥-7,784

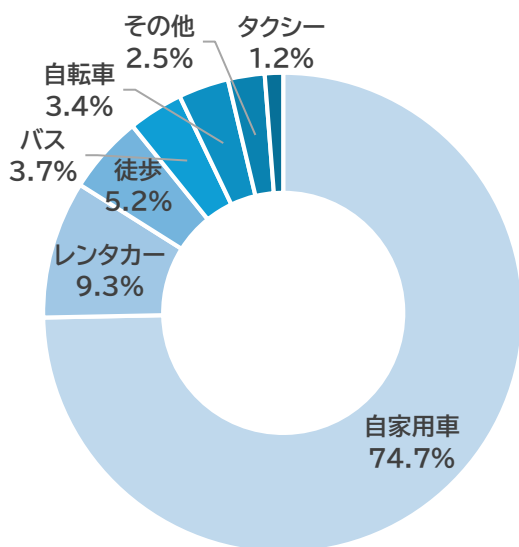
※③令和6年度大分県観光実態調査報告書より参照

⑪ 交通手段

《質問：中津旅行中の主な交通手段を教えてください(7択中・複数選択)》

- ・「自家用車」が74.7%と最も多く、次いで「レンタカー」が9.3%となった。特に「自家用車」の割合が昨年度比から21.3%と増加した。

■全体 (N=324)



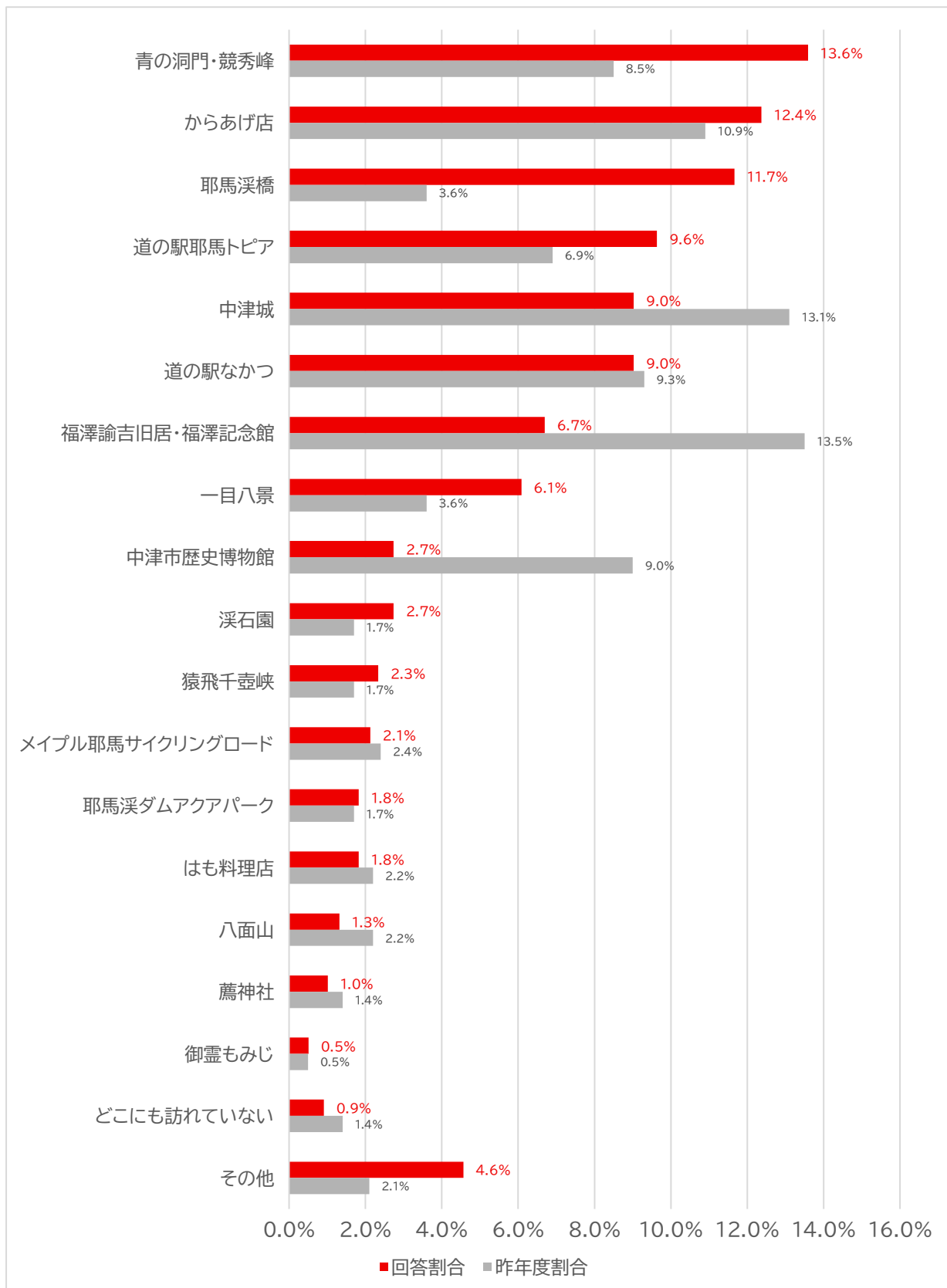
■旅の交通手段 昨年度比較

項目	回答数	割合	昨年度割合	増減
自家用車	242	74.7%	53.4%	21.3%
レンタカー	30	9.3%	8.3%	1.0%
徒歩	17	5.2%	4.2%	1.0%
バス	12	3.7%	5.6%	-1.9%
自転車	11	3.4%	3.7%	-0.3%
その他	8	2.5%	24.1%	21.6%
タクシー	4	1.2%	0.5%	0.7%
計	324	100%		

⑫ 観光箇所

《質問:今回訪れた(訪れる)場所を教えてください(19択中・複数選択)》

・「青の洞門・競秀峰」が13.6%と最も多く、「耶馬溪橋」も昨年度比で約3倍(8.1%増加)し一緒に周遊される傾向となった。また、「からあげ店」も《中津からあげプロジェクト》による全国的な情報発信により、1.5%増加した。一方で、「福澤諭吉旧居」や「中津城」等の歴史系施設は減少した。

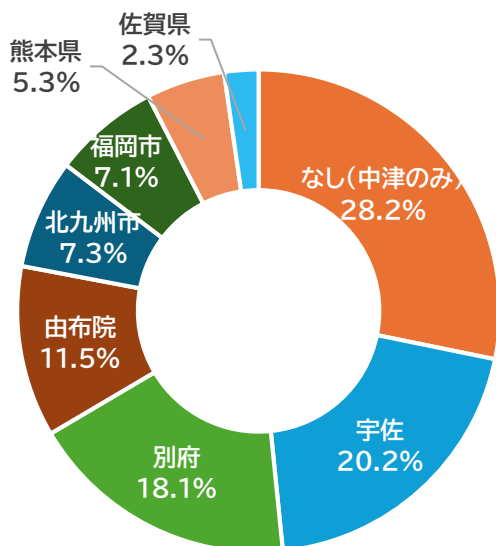


⑬ 前後周遊（令和7年度新設）

「質問:今回中津以外に訪れた(訪れる)場所を教えてください(8択中・複数選択)」

・「なし(中津のみ)」28.2%いる一方で、「宇佐」20.2%、「別府」18.1%、「由布院」11.5%と、大分県内の主要観光地と一緒に周遊されている。

■全体 (N=436)



■中津市旅行の前後周遊

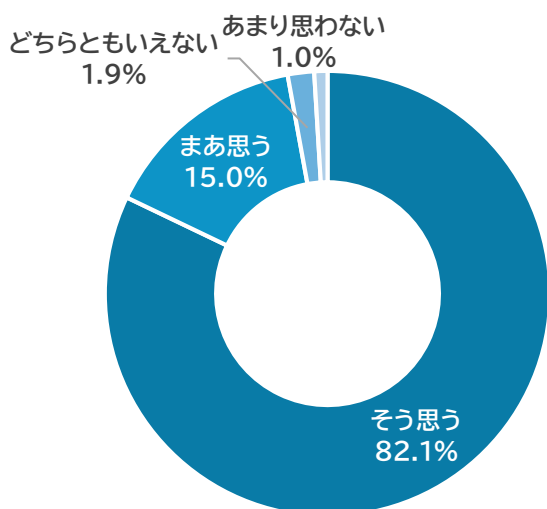
項目	回答数	割合
なし(中津のみ)	123	28.2%
宇佐	88	20.2%
別府	79	18.1%
由布院	50	11.5%
北九州市	32	7.3%
福岡市	31	7.1%
熊本県	23	5.3%
佐賀県	10	2.3%
計	436	100%

⑭ 再訪意欲

「質問:再び中津に訪れたいと思いますか?(5択中・1つ選択)」

・「そう思う」が 82.1%、「まあ思う」が 15.0%となり、肯定的な回答が 97.1%となった。非常に高い来訪満足度と再訪意欲を獲得している。

■全体 (N=313)

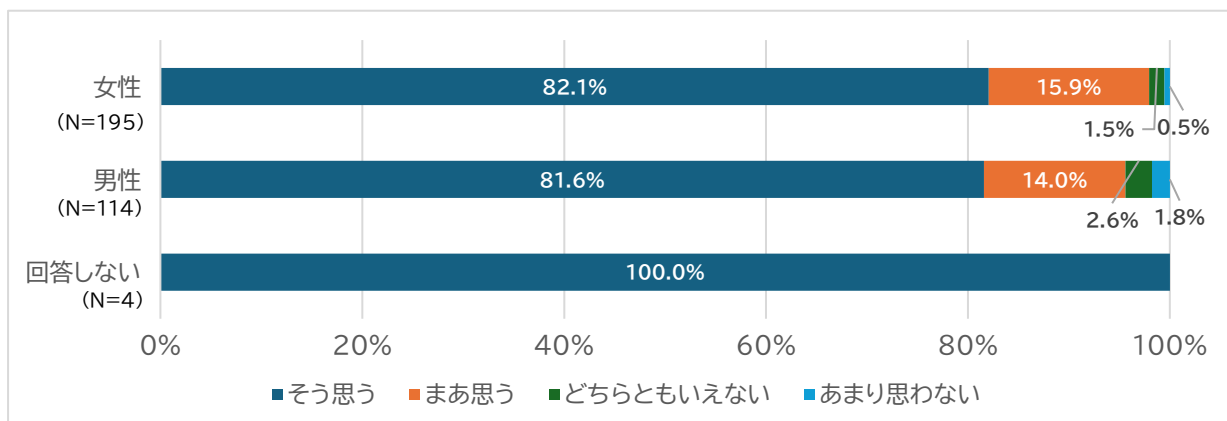


■中津市への再訪意欲 昨年度比較

項目	回答数	割合	昨年度割合	増減
そう思う	257	82.1%	77.6%	4.5%
まあ思う	47	15.0%	18.8%	-3.8%
どちらともいえない	6	1.9%	2.4%	-0.5%
あまり思わない	3	1.0%	1.2%	-0.2%
計	313	100%		

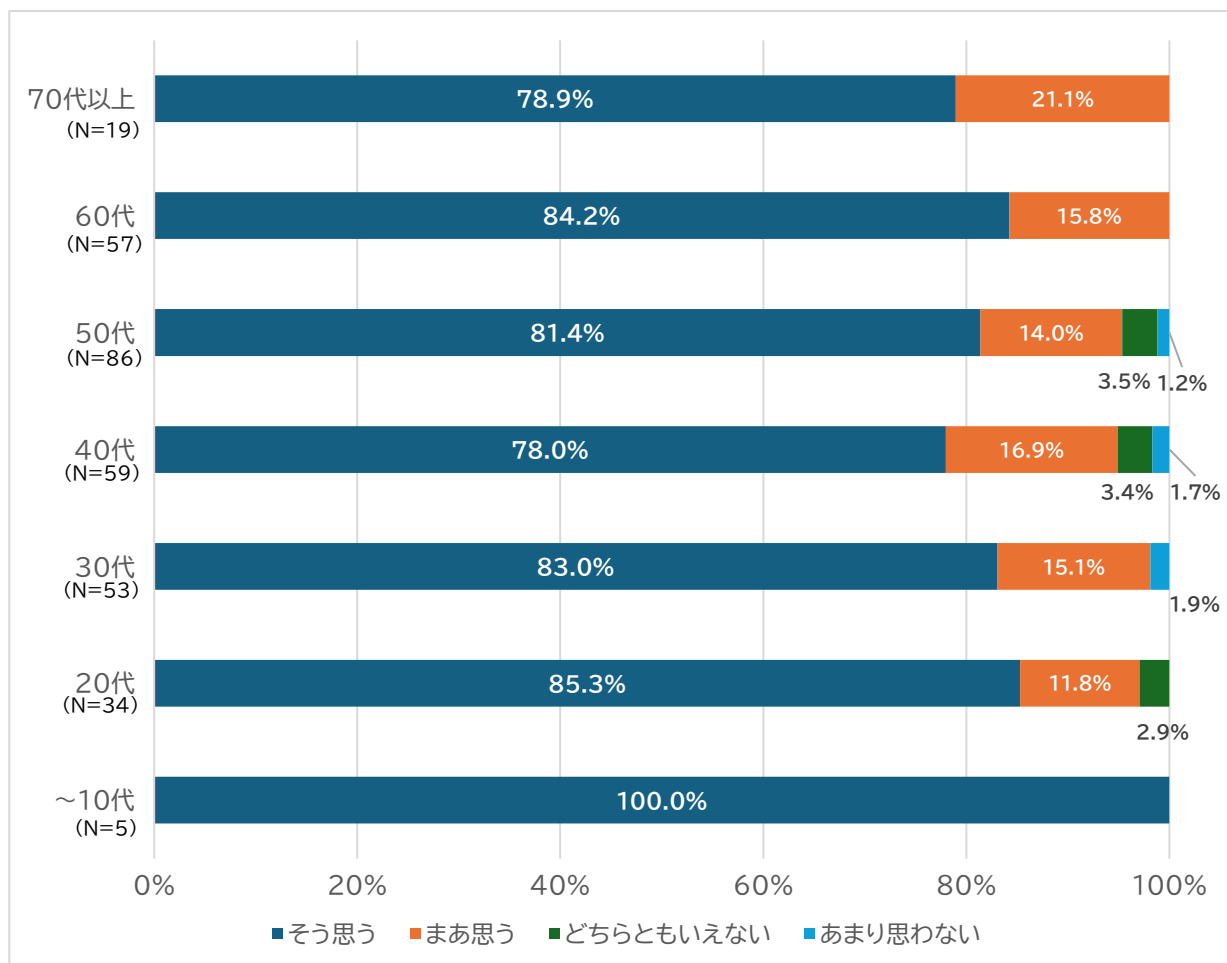
参考) 性別 × 再訪意欲

・男女ともに肯定的な回答(そう思う・まあ思う)が95%を超え、極めて高い再訪意欲を示している。特に女性は肯定派が98.0%に達し、否定・保留の回答は2.0%となっており、男性(肯定派95.6%・否定保留4.4%)と比較してより高い再訪意欲となっている。



参考) 年代 × 再訪意欲

・10代以下、60代、70代以上は否定・保留の回答が0%(肯定派100%)となった。一方、否定・保留の回答は20代から50代にのみ存在し、特に40代(5.1%)と50代(4.7%)でわずかに高くなっている。



⑮ 旅の印象

《質問: 今回の旅で心に残ったグルメやスポットなど教えてください(任意)》

・「食(からあげ)」が 18.7%、「観光(自然・景観)」が 17.0%、「食(食事施設)」が 16.8%と、特に「からあげ」と「自然景観」が回答者の印象に残る結果となった。

■全体 (N=364)

分類	回答数	割合	キーワード
観光(自然・景観)	62	17.0%	青の洞門・一目八景・耶馬溪 等
観光(歴史・文化)	41	11.3%	福澤諭吉旧居・福澤記念館・中津城 等
食(からあげ)	68	18.7%	からあげ、からあげ専門店名 等
食(食事施設)	61	16.8%	各観光協会会員食事施設 等
食(その他)	30	8.2%	桃、ジビエ、から椎茸 等
食(菓子)	17	4.7%	そば饅頭、外郎、和菓子 等
食(はも料理)	12	3.3%	はも料理、ハモかつ丼
食(そば)	10	2.7%	そば
食(喫茶)	1	0.3%	喫茶
宿泊	9	2.5%	各観光協会会員宿泊施設 等
道の駅	17	4.7%	道の駅なかつ、耶馬トピア 等
イベント	6	1.6%	コスモス祭り、ひまわり 等
温泉	4	1.1%	なかま温泉、金色温泉、温泉
体験	4	1.1%	サイクリングロード、ゴルフ
人	4	1.1%	人、生産者
土産	1	0.3%	竹細工
アクセス	1	0.3%	中津駅
その他	16	4.4%	とり天、宇佐、ハーモニーランド 等
計	364	100%	

⑩ 要望や意見

≪質問: その他中津市の観光で困ったこと要望があればご記入ください(任意)≫

・否定的な意見 48 件中、「交通・アクセス」への不満が 23 件と最も多くなった。バス不足や渋滞、キャッシュレス決済の不足など利便性への課題が挙げられた。

■全体 (N=110)

項目	分類	回答数	割合	具体例(一例)
要望	観光	10	31.3%	青の洞門が工事中ということをわかりやすく看板で知らせてほしい。
	情報発信	6	18.8%	食事施設やイベントの情報をもっと知りたい。
	交通・アクセス	5	15.6%	周遊バスがあったらよい。シェアサイクルがあったらよい。
	食	5	15.6%	農産物直売所を増やしてほしい。
	その他	4	12.5%	コンビニを増やしてほしい。(耶馬溪エリア)
	土産	1	3.1%	お土産の種類を増やしてほしい。
	ガイド	1	3.1%	歴史に詳しいガイドを選択したい。
	計	32	※29.1%	※全体回答数に対する割合
否定的な意見	交通・アクセス	23	45.8%	観光地までのバスの本数が少ない。歩道が少なく、危険。紅葉時期の渋滞。駐車場不足。
	観光	9	20.8%	夜の観光スポットがない。居酒屋以外の食事施設の営業情報が不足。
	食	6	12.5%	キャッシュレス決済の店が少なく現金支払いが多い。
	周遊	4	8.3%	耶馬溪が広すぎてどこに行けばよいか迷った。
	その他	3	6.3%	トイレが綺麗でなかった。オストメイトの故障に不満。
	情報発信	2	4.2%	耶馬溪以外の観光情報が少ない。
	宿泊	1	2.1%	旅館・高級ホテルが少ない。
	計	48	※43.6%	※全体回答数に対する割合
どちらでもない	特になし	20	100.0%	どちらでもない。
	計	20	※18.2%	※全体回答数に対する割合
肯定的意見	食	5	50.0%	美味しそうだからあげ店が多すぎて選べない。どの施設も親切だった。
	観光	3	30.0%	観光パンフレットを貰ってスムーズに観光できた。
	その他	1	10.0%	何度も来ている。
	交通・アクセス	1	10.0%	各施設の無料駐車場に感動した。
	計	10	※9.1%	※全体回答数に対する割合
合計		110		